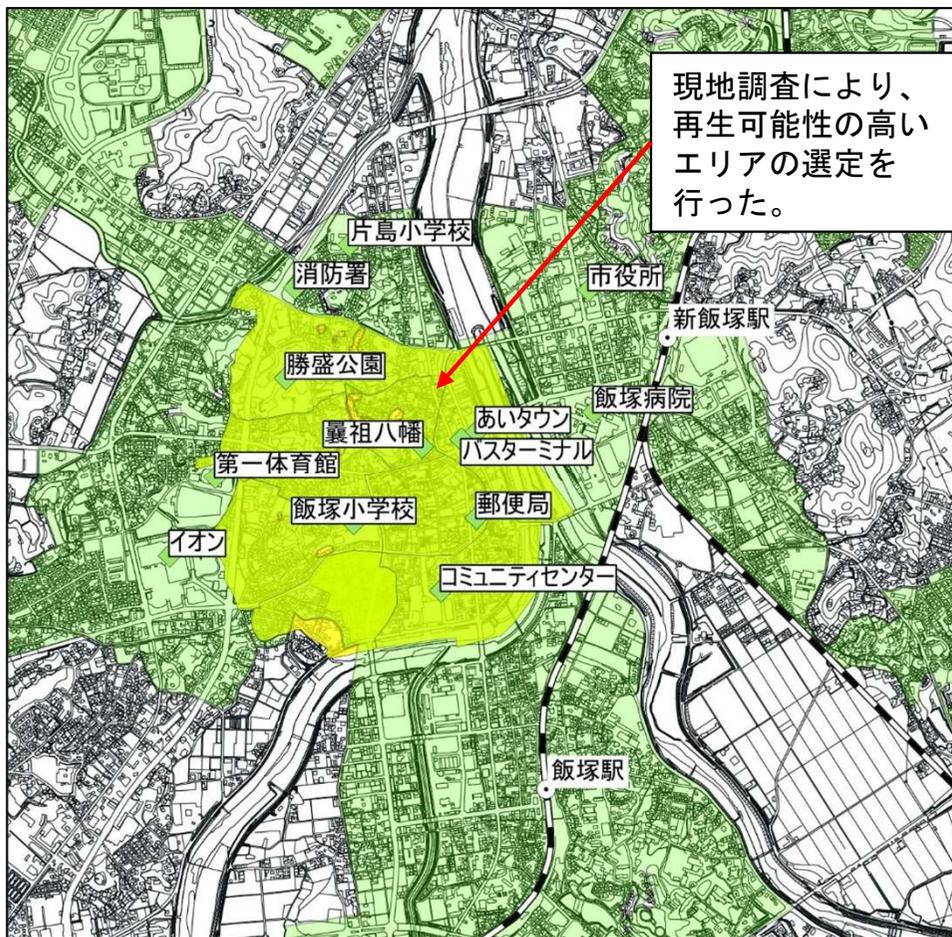


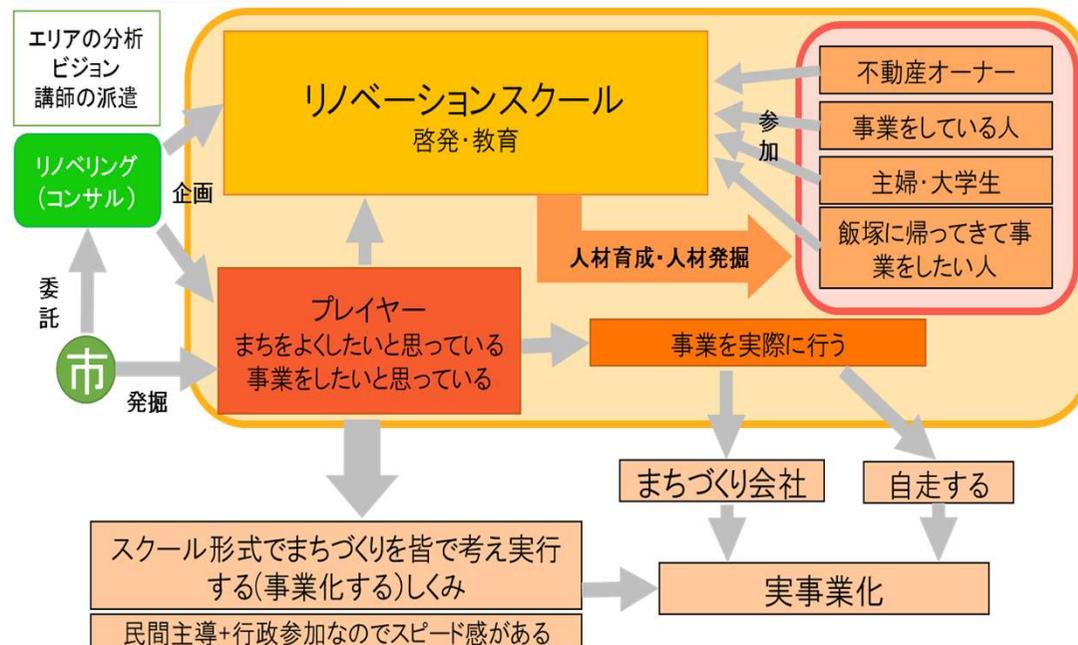
1 リノベーションまちづくり推進事業の目的

人口減少及び、少子高齢化社会において、空き家や空き地等の地域資源を活用したまちづくりを推進するため、平成30年度よりリノベーション推進事業を実施している。補助金に頼らない自立した地域のまちづくり活動につなげ、民間主導での「住宅市街地再生の身近な成功モデル」を創出し、その後の自走した取り組みへと展開する。他の地域への波及につなげることによって、各地の自主的な取り組みへつなげる。

2 対象エリア



3 事業スキーム



4 内容 (調査)

7月 エリア調査
まち歩きを行い、対象物件の選定や周辺の環境（公共施設や飲食店、公共交通からの距離など）の調査を行う。



5 内容（スクール）

8月 1stスクール

第一回事前講演会

講師：西村 浩 氏

参加者：48名

佐賀で行った空き地の利活用について講演を行った。「空き」も視点を変えれば資源になるということを地域の人に理解してもらった。

9月 1stスクール

第二回事前講演会

講師：矢口 真紀 氏

参加者：43名

埼玉県杉戸町で行った「月3万円ビジネス」の活動について講演を行った。女性が自分の好きなことを活かしてビジネスにすることで、地域に参加する方法があるということを紹介した。

10月 2ndスクール

リノベーションスクール

期間：3日間

受講生：22名

受講生を3班に分け、物件のリノベーションにより地域課題を解決する事業計画作成をワークショップにより行った。

各班には全国各地のリノベーションまちづくり事業を行っている第一人者が講師として就き指導した。また、地元で実践者として活動を行っている事業者も先駆者として各班のプランニングに参加した。

12～1月 3rdスクール

アフターフォロー

対象：2ndスクール受講生

リノベーションスクールで作成した事業計画を実際に進めていくにあたって、引き続き班で討議したものを、各班発表しあう。発表をもとに再度講師陣により事業案の改善を図り実事業化を推進する。

第一回事前講演会



第二回事前講演会



フィールドワーク



班で討議



講師による講義



プレゼン・講評



6 今後の展開

令和2年度においても、同様のリノベーションスクールを実施し、実事業化を目指す。その後は、他の地域への波及を図り、自走した取り組みとし、まちづくり会社設立を目指していく。長期的にはエリアの魅力向上により、居住エリアとしての価値向上につなげる。